

モンテッソーリ・アジア2014東京大会 報告

2014.8.10～8.12

みなさん、ありがとうございました



公益財団法人才能開発教育研究財団



大会概要は

※今大会は、毎年アジアの各国で開催され、東京大会が第六回となる。アジアのためのモンテッソーリ教育を考え、実践、学ぶ会として、第一回台湾、第二回韓国・ソウル、第三回中国・北京、第四回シンガポール、第五回ロシア・モスクワで開催。
当財団は日本の代表として参加する。

- * 主催 **モンテッソーリ・アジア2014東京大会実行委員会**
- * 後援 **文部科学省**
- * **公益財団法人才能開発教育研究財団**
- * **モンテッソーリ松浦学園 子どもの家**
- * 協賛 **株式会社学研ホールディングス グループ各社**

- * 参加対象者 **幼児教育関係者・研究者・一般**

- * 会場 **8/10～8/11 東京国際交流館 プラザ平成**
- * **8/12 立川市「ふじようちえん」**

参加者は 総勢561名

※毎年実施される大会において各国の指導者との交流を当財団は松浦先生を中心に行っている。今回も多くの国々から参加いただいた。多くがモンテッソーリ教育の指導者である。



- * ①海外からの参加者数:113名(全16か国)
- * ※内訳 韓国31名・中国28名・シンガポール11名
- * ロシア7名・マレーシア6名・アメリカ6名・マカオ5名
- * カザフスタン3名・タイ3名・インドネシア2名
- * 台湾2名・カナダ2名・アゼルバイジャン1名
- * バングラデシュ1名・モンゴル1名・フィリピン4名

※今回参加者の9割が幼稚園、
保育園(2:3)の保育者・経営者、
その他大学の研究者、一般。



- * ②国内参加者数:448名
- * ※内訳 一般参加者290名
- * 招待者11名
- * 大会関係者126名
- * 通訳ほか21名

大会・全日程



大会プログラム

プログラムは都合により事前の告知なく変更になる場合がございます。予めご了承ください。

Day 1 8月10日(日)				
全体会 【国際交流会議場】				
8:50▶9:30	オープニングセレモニー	実行委員長 松浦 公紀		
9:30▶10:20	講演 1	ジョイス・ピックリング 「アメリカにおけるモンテッソーリ教育の歴史と AMS」		
10:20▶10:30	休憩			
10:30▶11:30	講演 2	ステイブ・ヒューズ 「私でなき々々」モンテッソーリ教育で育った子どもの価値観、倫理観及び社会性の発達」		
11:30▶13:00	昼食			
全体会 【国際交流会議場】				
13:00▶13:15	クイズタイム	第6回ミセス日本クラブ賞 梶尾 藍未さん		
13:15▶14:00	講演 3	加藤 積 「子どもの育つところ ふじようちえん ～いい空気が流れ、気持ちいい環境「懐かしい未来へ」～」		
14:00▶14:20	休憩 コーヒーブレイク			
分科会				
14:20▶15:20	14:20▶15:20	14:20▶15:20	14:20▶15:20	14:20▶14:55
モーリーン・ハリス 「教育の将来を喚起する：モンテッソーリグローバル・ビレッジへの道」	手塚 貴晴 「子供と建築」	根本 華登 「小さな子どもが感じる1日」	松尾 博也 「モンテッソーリ教育を核とした、幼児期から学童期への流れ」	佐藤 晴美 「あなたがたは誰ですか？」と問うことから始まる環境づくり
全体会 【国際交流会議場】				
15:45▶16:35	講演 6	エリザベス・バク 「TEACH(教育用に使用する教師の iPad)を使った指導を振り返って」		
16:45▶17:35	講演 7	ピーター・ラロー / ロザン・ラロー 「モンテッソーリ教育の偉大な贈り物」		
19:00▶21:00	交流会 【ワシントンホテル有明】			
Day 2 8月11日(月)				
全体会 【国際交流会議場】				
8:30▶9:20	講演 8	シャーマイン・ツウ 「教員養成におけるモンテッソーリの最重要意義の見直し」		
9:30▶10:20	講演 9	ヨンスン・ジュン 「モンテッソーリ教育が1985年以降、韓国で復活したのはなぜか？」		
10:20▶10:40	休憩			
10:40▶11:30	講演 10	ナンシー・チャン 「中国幼児教育改革の精神とモンテッソーリ教育原理の比較」		
11:30▶13:00	昼食			
全体会 【国際交流会議場】				
13:00▶13:50	講演 11	ジェフリー・ビショップ 「自然とのふれあい：自然への畏敬の念」		
14:00▶14:20	休憩 コーヒーブレイク			
分科会				
14:20▶15:20	14:20▶14:55	15:00▶15:35	14:20▶15:20	14:20▶14:55
謝 恵昭 「モンテッソーリと孔子は一心同体！モンテッソーリ教育の新解釈」	櫻井 美砂 「考える力を育む保育の実践」	高田 美和子 「モンテッソーリ算数教育の可能性を探る—学校教育との関連性—」	本宮 陽介 「総合的活動として自然の中から学ぶもの」	加賀谷 由美子 「親の気づきを促すために」
全体会 【国際交流会議場】				
15:40▶16:30	講演 13	ラルフ・ユウ 「モンテッソーリ教育と中華思想のバランスの概念」		
16:30▶17:20	講演 14	マリオン・パロン 「観察に挑戦しよう！見えるもの、見えないもの」		
17:20▶18:00	クローズングセレモニー	大会実行委員長 松浦 公紀		
Day 3 8月12日(火)				
ふじようちえん視察				
9:30	バス到着			
10:00	全体会 ふじようちえん園長挨拶、見学の手引き説明			
10:30▶11:45	見学 ブレイクタイム(かき氷・団子・流しぞうめん・ミネラルウォーターなどのサービス)			
12:00▶	昼食 ふじようちえんスマイルファーム産野菜を使用した手作りランチ			
13:00	終了、解散 専用バスにてホテルまでの送り返			

講演・分科会① 海外講演者 12名

テーマ「21世紀型の教育の在り方」

モンテッソーリ教育は21世紀型の教育に有効か



ジョイス・ピッキング

アメリカにおけるモンテッソーリ教育の歴史と教師養成規格について

モーリーン・ハリス

いかに子どもたちの思考力を高め、心を育てられるか



スティーブ・ヒューズ

モンテッソーリ教育で育った子どもたちの価値観や倫理観、社会性についての報告



ピーター・ラロー /ロザン・ラロー

モンテッソーリ教育の学び方を提示。「ただモンテッソーリを実施するのではなく、マリア・モンテッソーリになろう」



エリザベス・パク

教師用iPadを使っでの教育的運用

講演・分科会②

＊ 海外講演者

シャーメイン・ソウ

「伝統的な」モンテッソーリ教師養成プログラムの見直しは必要か、経験あるトレーナーの考え、意見



ヨン・スン・ジュン

科学教科におけるモンテッソーリ教育。比較、判断、分析、推論を磨く教育の韓国での現状



謝 恵媚

孔子思想とモンテッソーリ教育。その哲学と実践、ソーシャル・エコロジー



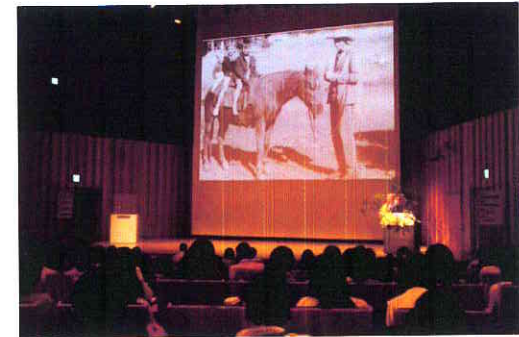
ナンシー・チャン

新たな中国幼児教育改革の精神とモンテッソーリ教育原理の比較検討



ラルフ・ユー

親への教育の正常化を考える。モンテッソーリ教育においては、意欲的で教育されたある一定以上の親が必要である



ジェフリー・ビショップ

自然を教室に取り込むには

講演・分科会③

* 国内講演者10名

加藤 積一

OECDで評価された「ふじようちえん」的なモンテッソーリ教育の実践を紹介。今の幼児教育に必要なものを提言



手塚 貴晴

安全で静かな現代建築の中で子どもたちが失っているものは何か、問題提起する



松浦 公紀 (大会実行委員長)

21世紀進化するモンテッソーリ教育を提言

佐藤 晴美

子どもの観察とは？子どもたちの心の声を聞くことの大事さを事例を通して紹介



松尾 博也

モンテッソーリ教育の幼児から学童への連続性と、学校教育におけるカリキュラムを超えた素材展開を報告



講演・分科会④

* 国内講演者

根本 華誉

保育園のモンテッソーリ教育の環境の中で子どもたちは、物的環境と人的環境とどのように関わり合いをもちながら生活しているか実際に記録から読み取ります



加賀谷 由美子

保育者の役割として保護者に対する啓発は大事です。「教え込まない」「見守る」「待つ」をキーワードに行っている勉強会等を紹介



本宮 陽介

自然の中から五感をフルに使いながら学ぶことは多い。モンテッソーリ教育におけるスタートに自然の環境の中での取り組みを随時いれながら興味や集中力を増す試みを紹介



櫻井 美砂

子どもたちが主体的に考え、問題解決を行う環境の実践例を紹介します



高田 美和子

モンテッソーリ教育の中で特に学校教育とつなげながら行うとより効果的ではないかと「算数教育」教具を使い実際に小学校での取り組みを行いました。実践の報告



展示

松浦学園の実践展示
・財団展示

財団書籍販売



松浦学園の
教材や子どもた
ちの姿を紹介

財団パネル展示：
食事会場にも
財団の歴史、
モンテッソーリ教育紹介
パネル展示



協賛各社販売コーナー：全9社 ありがとうございました



- ◎株式会社モンテッソーリ マリーアン
- ◎ICE幼児教室
- ◎Little house
- ◎学研ホールディングス+ニーホイス



- ◎プラントイジャパン株式会社
- ◎あいネットグループ
- ◎中央出版株式会社
- ◎Beijing Gonzaga Great Wall Furniture Co., Ltd



ランチタイム・ブレイクタイム

交流の場となりました

本会場前



4階会議室



最終日は、立川市「ふじようちえん」見学



卒園児が英語で説明



ドーナッツ状
の園舎を見学



保育の様子も紹介

「ふじようちえん」環境

※都会にいながら子どもたちは自然と常に関わりながら生活をしています

文化教育のための園舎



樹の上の園舎



野菜の栽培



ポニーの飼育



最後に

◎松浦公紀実行委員長のもとで準備委員会から実行委員会までしっかりとした組織作りができ運営できたこと、ご協力いただいたみなさんに感謝申し上げます。

◎海外から113名、国内から253名の参加者を招き、日本におけるモンテッソーリ教育に対する期待感や熱心さが伝わり、本来の交流の目的を果たすことができました。参加いただいた方に感謝申し上げます。

◎テーマにおける21世紀型教育にモンテッソーリ教育の発展は、様々な試みで実践を繰り返し進んでいる現状が確認できました。

◎今回、文部科学省の後援をいただき、広く日本におけるモンテッソーリ教育が再認識される良い機会となりました。

◎今後も財団として日本におけるモンテッソーリ教育の普及に、この大会をきっかけに活動を進めていきたいと思います。これからも何卒よろしく願いいたします。



財団より実践例発表集(松浦先生監修)を制作する →

